

令和4年度

決算の概要について

令和5年9月19日

長岡市



# 令和4年度 決算の概要について

令和5年9月19日

令和4年度の一般会計決算は、歳入総額は、1,487億6,681万2千円、対前年比20億8,167万5千円（1.4%）の増、歳出総額は、1,416億6,018万8千円、対前年比18億1,327万2千円（1.3%）の増で、差し引き形式収支は、71億662万4千円の黒字となりました。

ここから翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支黒字額は、62億6,023万7千円となりました。

市税が前年度より増収となったことや、令和4年度に交付を受けた国県支出金の中に、令和5年度に入ってから精算するものが例年以上に多くあることに加えて、新型コロナウイルス禍から徐々に脱することを想定し、社会経済活動の回復が期待された事業を中心に、十分な予算を確保しましたが、結果的に歳出執行残が見込みを上回ったことが、主な要因と考えています。

また、財政運営の安定化と将来への備えとして、令和3年度からの繰越金をもとに財政調整基金に19億5千万円を積立てました。

歳出については、新型コロナウイルス感染禍後の社会変化に対応するため、元気あふれ選ばれるまちに向けた取り組みとして、「米百俵プレイスミライエ長岡」の整備を進めたほか、移住定住の促進や地域産業の振興、女性活躍の推進、魅力発信による関係・交流人口の拡大に取り組みました。

また、「新しい米百俵」による人材育成と歴史文化を継承するため、デジタル技術による人材育成や長岡の歴史文化を未来へつなぐ取り組みを推進しました。

さらに、誰もが暮らしやすいまちの実現に向けて、福祉・健康・医療・子育て支援の充実を図り、市民協働の推進や身近な生活環境の整備に取り組むとともに、安全安心なまちづくりとして、災害対策や鳥獣被害対策を強化し、カーボンニュートラルに向けた取り組みを推進しました。

次に、令和4年度に実施した主要な事業について、説明いたします。

## I 元気あふれ選ばれるまちに向けた取組

### 1 「米百俵プレイス ミライエ長岡」の整備と長岡版イノベーションの推進

#### ① 「米百俵プレイス ミライエ長岡」の開館準備

令和5年7月22日の「米百俵プレイス ミライエ長岡」西館の先行オープンに向け、互尊文庫やN a D e C B A S Eの移転準備を進めました。

#### ② 産業イノベーションの推進

市内企業によるデジタル技術の活用や技術高度化、新製品開発、再生可能エネルギーの利活用、バイオエコノミー等の取り組みを後押しするため、イノベーション加速化補助金を設けて、新たに63件を支援しました。

また、産学官が連携したイノベーションモデルプロジェクトにより介護現場の課題を抽出・共有し、解決に向けた試作品の開発と実証実験を行いました。

#### ③ 行政手続等のD X推進

オンライン申請・手続きシステムを導入し、行政手続きの利便性を向上させたほか、テレビ会議システムやビジネスチャットの利用範囲を拡充し、業務の効率化を図りました。

### 2 求められる都市インフラの整備

#### ① 長岡ニュータウン運動公園の整備

信濃川河川敷野球場の長岡ニュータウン運動公園への機能移転に向け、整備予定地の測量業務を行ったほか、基本計画の策定と事業手法の検討を行いました。

### 3 企業誘致と移住定住の促進、地域産業の振興 ～地方分散の受け皿～

#### ① 移住・就業の推進

移住定住ポータルサイト等を活用して情報発信するとともに、空き家等を活用したお試し移住体験を実施し、7世帯が参加しました。

また、首都圏に本社があるIT企業等3社のサテライトオフィスを誘致したほか、空き物件をサテライトオフィスやコワーキングスペースに改修する費用を事業者に支援しました。

#### ② 起業・創業の推進

起業を目指す女性向けのセミナーや先輩女性経営者との交流会を新たに実施したほか、スタートアップ創出補助金や学生起業家育成事業により、独創的な技術・アイデアを有する新規事業の立上げや学生による起業を支援しました。

#### ③ 長岡版スマートアグリ推進

市内の水田等に661台のセンサーを設置し、水位・水温・気象の情報をリアルタイムで計測しデータベース化することで、迅速な状況把握や高精度な営農指導につなげるシステムを構築しました。

また、ふるさと体験農業センター「あぐらって長岡」内にスマートアグリ機器の操作や次世代園芸を体験できる施設を整備しました。

### 4 あらゆる分野における女性活躍の推進

#### ① 多様な活躍につながる機会の提供とネットワークづくりの推進

キャリアアップ・起業・市民活動等について学ぶ計6回の連続講座や、産業界などにおける女性活躍推進の意識啓発を目的としたシンポジウムを開催しました。

また、女性のアイデアコンテストを実施し、オンライン育児相談や女性に配慮したAEDの使用方法等のアイデアを施策に活かしました。

## 5 魅力発信による関係・交流人口の拡大

### ① 良寛と貞心尼の新しい魅力発信

良寛の里美術館を会場に、二人に関係する遺墨を中心とした特別展「貞心尼没後150周年展」を開催したほか、歌碑やはちすば通りにつながる散策道を整備しました。

### ② アオーレ長岡開館10周年記念事業の実施

「NHKのだ自慢」や「ざんねんないきもの事典」、ナカドママーケットなどの記念事業を実施したほか、年間を通して賑わいを生み出す市民交流イベントやアオルミネーションなどの装飾を行うことで、次の10年に向けて、市民協働と市民交流の拠点を市民とともに一層充実させていくための機運を醸成しました。

## 6 感染禍からの早期回復を図る支援

### ① 市内宿泊応援キャンペーンで宿泊需要回復の支援

感染症の影響を受ける市内宿泊関連事業者の事業継続を支援するため、宿泊料金割引キャンペーンを実施しました。

また、市内の宿泊や観光を含む旅行会社の企画に対して助成を行い、県外からの旅行者の回復を図りました。

### ② ポッキリパスポートで市内経済回復の支援

消費喚起と市内経済の循環を図るため、市内358店舗で利用できる3千円分のクーポン券付き冊子を市政だより9月号とともに、市内約11万世帯に配布しました。

### ③ デジタル地域通貨「ながおかペイ」の導入を支援

地域経済の循環をDXにより推進するため、デジタル地域通貨「ながおかペイ」の導入を支援しました。

チャージ額や決済額に応じてプレミアムポイントを付与する各種キャンペーンを支援し、利用者と取扱店の定着・拡大を進めたこと

で、令和4年度末時点のユーザー数は11,737人、取扱店数は131店となりました。

## Ⅱ 「新しい米百俵」による人材育成と歴史文化の継承

### 1 未来をつくる人材育成の推進と教育環境の整備

#### ① Edu-Diver 構想の推進

長岡らしさを生かした高度で多様な教育を進めるため、長岡教育情報プラットフォーム「こめぷら」を構築し、約160本の動画コンテンツをアップロードしました。

また、すべての市立小中学校の理科室に無線LAN環境を整備することで、タブレット端末を活用したICT教育をさらに充実させました。

#### ② 特別支援学級等への介助員の増員

個別の支援や配慮が必要な特性の強い児童生徒の増加に対応し、きめ細やかで手厚い支援を行うため、介助員30人を増員して市内の小中学校及び総合支援学校に配置しました。

### 2 地域の歴史文化とアイデンティティの継承

#### ① 悠久山公園における歴史を学ぶ環境整備

公園内の石碑23か所の周辺にある広場や看板を整備するとともに、石碑の解説や園内の案内にデジタル技術を用いる実証実験を行いました。

#### ② 戦災資料館、文書資料室の移転整備

戦災資料館を恒久的な伝承施設として整備するため、長岡空襲の爆撃中心点である明治公園に隣接する旧互尊文庫を活用するための基本設計や企画運営検討委員会による検討を行いました。

また、文書資料室の旧サンライフ長岡への移転整備に向け、内装改修工事を行い、古文書等約15万6千点を移設しました。

### Ⅲ 誰もが暮らしやすいまちの実現

#### 1 感染防止対策と医療体制の確保

##### ① 新型コロナウイルス検査体制の確保

市内の介護保険施設・障害者施設等における感染拡大を防止し、施設職員が安心して働くことができる環境を整えるため、PCR検査等の費用を支援しました。

また、感染拡大地域との往来などによる懸念から自主的にPCR検査等を行った市民の検査費用を支援したほか、PCR検査センターの運営に携わった医療従事者を支援しました。

#### 2 市民協働の推進と地域の活力創造

##### ① 栃尾地域交流拠点施設（トチオーレ）オープン記念事業の実施

令和4年5月1日のオープニングセレモニーのほか、秋あじまつりや冬のイルミネーションなどの記念イベントを年間を通して開催し、9月には来場者数10万人を達成しました。

##### ② 地域交流拠点の整備

与板地域交流拠点施設（仮称）の基本設計と現況測量を実施したほか、現在の川口支所と川口コミュニティセンター周辺の再編整備に向けた検討を進めるため、地域住民による懇談会を開催しました。

#### 3 福祉・健康・医療の充実と地域共生社会の推進

##### ① 障害者等の日常生活用具の購入費助成

在宅で人工呼吸器等の医療機器を使用する障害者の日常生活の向上・改善を図るため、日常生活用具の対象品目に非常用電源装置を追加しました。



## ② ヤングケアラーの支援

関係機関と課題を共有し、連携の重要性や理解促進の必要性を確認するため、学校アンケートによる実態調査、教育・福祉機関向けの研修会及び支援体制検討会を開催しました。

## ③ がん患者の医療用補整具購入費の助成制度新設

がん患者の治療と社会参加を支援し、がんとの共生社会を実現するため、医療用ウィッグや補整具の購入費の助成により、新たに176人を支援しました。

# 4 子育て支援のさらなる充実

## ① マタニティライフ応援金制度の新設

出産までの日々を心豊かに過ごしていただけるよう妊婦を応援し、経済的負担を軽減するため、長岡市で出産・育児する妊婦2,432人に対して、新たにマタニティライフ応援金5万円の現金給付を行いました。

## ② 子どもの医療費助成の対象年齢拡充

入院・通院ともに対象年齢を「中学校卒業まで」から「高校卒業まで」に拡充しました。

# 5 身近な生活環境の整備と地域経済の下支え

## ① 消雪施設の整備に係る補助率の引上げ

町内会や消雪組合による消雪施設の整備に対する補助率を40%から60%に引き上げ、80団体を支援しました。

## ② 包括的市道管理の対象地域拡大

三島、小国、和島、川口地域で実施していた包括的市道管理業務について、対象地域を越路、寺泊、与板地域に拡大しました。

### ③ 新斎場と共同墓の整備

与板無憂苑斎場と寺泊斎場を統合し、和島地域内に北部地域斎場（仮称）を整備するため、事業用地の取得や現況測量を行いました。

また、市営墓地の承継者不在による無縁墓化を未然に防ぐために長岡市墓園に整備する共同墓のデザイン・設計を行いました。

## 6 その他の物価高騰対策

### ① 子育て世帯家計支援給付金の支給

急激な物価高騰の影響を受ける子育て世帯の経済的な負担を軽減するため、18歳以下の児童1人あたり2万円の子育て世帯家計支援給付金を所得制限を設けずに23,562世帯に支給しました。

### ② 生活困窮世帯に対する原油価格等高騰対策給付金の支給

原油価格高騰の影響を受ける住民税非課税世帯の経済的な負担を軽減するため、1世帯あたり5千円の原油価格等高騰対策給付金を3,380世帯に支給しました。

### ③ 介護保険施設・障害者施設等エネルギー価格高騰対策支援金の支給

エネルギー価格高騰の影響を受ける市内介護保険施設・障害者施設等の事業者に対して、エネルギー価格高騰対策支援金を支給することで、事業者の負担軽減を図り、利用者サービスの低下を抑えました。

### ④ 学校給食費支援補助金の支給

物価高騰により食材費が高騰しても、保護者負担を急激に増額させることなく、これまで通りの栄養バランスや量を保った学校給食を実施するため、市内小中学校及び総合支援学校の学校給食費会計に対して、学校給食費支援補助金を支給しました。

## IV 安全安心なまちづくり

### 1 災害対策の強化

#### ① 「わが町の防災タイムライン」を活用した避難行動検討の支援

水害への備えを強化するため、「わが町の防災タイムライン」を新たに作成するとともに、地域への中越市民防災安全士の講師派遣を通じて、水害時における自主防災会や町内会の行動計画の検討を支援しました。

### 2 鳥獣被害対策の強化

#### ① 電気柵導入費用の支援制度新設

個人・団体ともに活用できる電気柵導入の助成制度を新たに設けて、73人と7団体を支援することで、既存の貸付制度と合せて、電気柵によるサル・イノシシ等の防除体制を強化しました。

#### ② 鳥獣緩衝帯整備費用の支援制度新設

人との生活圏を棲み分ける鳥獣緩衝帯整備費用を支援する制度を新たに設けて、12団体を助成したほか、放置された不要な果樹等の伐採に取り組む16団体を支援することで、集落で取組む鳥獣を寄せ付けない環境の整備を進めました。

### 3 カーボンニュートラルの推進

#### ① 長岡市エネルギービジョン（仮称）の策定

エネルギーの将来像を示し、再生可能エネルギー等の計画的・総合的な導入を推進するため、エネルギービジョン策定委員会での議論や市民・事業者向けアンケートの結果を踏まえて、「長岡市カーボンニュートラル チャレンジ戦略2050」を策定しました。

#### ② 省エネ・再エネの推進とパワーエレクトロニクス産業の振興

2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、産業界における

脱炭素化を推進するため、産学官金からなる「長岡市省エネ・再エネ産業振興プラットフォーム」を設立しました。

また、国内有数のパワーエレクトロニクスの研究拠点である長岡技術科学大学が立地する優位性と強みを生かした産業の育成と創出を図るため、「長岡パワーエレクトロニクス研究会」を設立しました。

以上で主要な事業の説明を終わり、次に、歳出の各款別の支出状況について申し上げます。

《議会費》は、5億636万2千円で、

対前年比610万6千円（1.2%）の増であります。

この主な内容は、議会運営費の増であります。

《総務費》は、176億6,736万9千円で、

対前年比18億3,892万4千円（9.4%）の減であります。

この主な内容は、減債基金積立金14億9,997万9千円、栃尾地域交流拠点施設整備事業費15億2,126万4千円の減と、ふるさと長岡への応援寄附金推進事業費2億5,728万4千円の増であります。

《民生費》は、412億8,408万7千円で、

対前年比30億8,554万1千円（7.0%）の減であります。

この主な内容は、子育て世帯等臨時特別支援事業費37億9,708万2千円、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費14億2,476万3千円の減と、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業費11億8,915万6千円の増であります。

《衛生費》は、149億9,838万1千円で、

対前年比45億978万円（43.0%）の増であります。

この主な内容は、一般廃棄物処理施設整備事業費39億9,953万3千円、基幹病院物価高騰対策補助金2億4,300万円の増と、新型

コロナウイルスワクチン接種事業費 5 億 8, 887 万 5 千円の減であります。

《労働費》は、3 億 3, 193 万 9 千円で、

対前年比 5, 221 万円（13.6%）の減であります。

この主な内容は、勤労者住宅建設資金融資事業費 3, 697 万円、サ  
ンライフ長岡管理運営費 1, 548 万 8 千円の減であります。

《農林水産業費》は、29 億 7, 512 万 2 千円で、

対前年比 1 億 2, 895 万 3 千円（4.5%）の増であります。

この主な内容は、物価高騰等対策農業支援事業費 7, 586 万円、県  
営土地改良事業費 4, 914 万 8 千円の増であります。

《商工費》は、53 億 7, 197 万 8 千円で、

対前年比 1 億 5, 442 万 8 千円（3.0%）の増であります。

この主な内容は、省エネ設備導入支援事業費 1 億 8, 688 万 1 千円、  
事業者営業継続支援事業費 9, 671 万 4 千円の増と、飲食・サービス  
安心応援給付金事業費 1 億 8, 117 万 2 千円の減であります。

《土木費》は、219 億 2, 316 万 5 千円で、

対前年比 1 億 8, 514 万 3 千円（0.8%）の減であります。

この主な内容は、住宅建設等融資事業費 4 億 6, 262 万円、左岸バ  
イパス南北延伸道路整備事業費 3 億 1, 969 万 2 千円の減と、大手通  
坂之上町地区市街地再開発事業費 3 億 4, 765 万 1 千円の増でありま  
す。

《消防費》は、68 億 6, 817 万 1 千円で、

対前年比 8, 768 万 3 千円（1.3%）の増であります。

この主な内容は、消防庁舎管理事業費 4, 849 万 6 千円、小国地域  
防災拠点整備事業費 1, 744 万 1 千円の増であります。

《教育費》は、109億1,117万5千円で、

対前年比5億3,827万1千円(5.2%)の増であります。

この主な内容は、小学校大規模改造事業費2億5,022万6千円、学校一般管理費2億5,003万1千円の増と、学習情報化推進事業費1億4,355万4千円の減であります。

《公債費》は、187億5,729万7千円で、

対前年比15億9,833万3千円(9.3%)の増であります。

この主な内容は、長期償還元金16億6,973万7千円の増と、長期償還利子7,139万6千円の減であります。

《災害復旧費》は、6,514万2千円で、

対前年比4,846万4千円(42.7%)の減であります。

この主な内容は、令和2年7月28日・29日豪雨災害復旧事業費5,929万8千円の減であります。

次に、下水道事業会計と水道事業会計、簡易水道事業会計を含む特別会計について申し上げます。

歳入総額は、778億5,877万3千円、対前年比1億6,065万3千円(0.2%)の増、歳出総額は、826億2,481万5千円、対前年比5億9,323万円(0.7%)の増であります。

歳出の主な内容は、水道事業会計3億286万5千円(3.3%)の増、国民健康保険事業特別会計1億7,954万6千円(0.7%)の減であります。

なお、一般会計と特別会計の総額は、歳入では2,266億2,558万5千円、歳出では2,242億8,500万3千円であります。

次に、令和4年度における「財政調整基金等の状況」、「財政指標」及び「健全化判断比率」について申し上げます。

#### 《財政調整基金等》

令和4年度末現在（出納閉鎖時）の残高は、

- 財政調整基金            88億4,497万8千円
  - 減債基金                15億2,947万円
  - 都市整備基金            43億5,654万3千円
- 【3基金の合計            147億3,099万1千円】です。

#### 《財政指標》

- 1 財政力指数は0.598で、前年度の0.606に比較して0.008ポイント低下しました。
- 2 経常収支比率は92.4%で、前年度の89.8%に比較して2.6ポイント上昇しました。

#### 《健全化判断比率》

- 1 実質赤字比率及び連結実質赤字比率は、赤字の会計がないため数値がありませんでした。
- 2 実質公債費比率は6.5%で、前年度の5.9%に比較して0.6ポイント上昇しました。  
(参考：早期健全化基準25.0%)
- 3 将来負担比率は66.6%で、前年度の65.3%に比較して1.3ポイント上昇しました。  
(参考：早期健全化基準350.0%)

以上、令和4年度の決算概要について申し上げましたが、決算の内容については、「令和4年度長岡市一般会計・特別会計・下水道事業会計・水道事業会計・簡易水道事業会計決算書」のとおりです。

また、予算執行状況の詳細については、一般会計と特別会計は「令和4年度主要施策の成果及び予算執行実績の報告書」、下水道事業会計は「令和4年度下水道事業会計決算書」の事業報告書、水道事業会計は「令和4年度水道事業会計決算書」の事業報告書、簡易水道事業会計は「令和4年度簡易水道事業会計決算書」の事業報告書のとおりです。